

江別市DX推進方針における 具体の取組事項の進捗状況について

01 情報発信のデジタル化について

◆ SNS活用による情報発信

(1) 目的

多様化する情報ニーズに対応するため、SNSなどのデジタルツールを用い、市の業務や事業、市民生活にかかわる事項など、利用者が求める行政情報を幅広く発信することを目的としている。



(2) SNSの種別及び登録者数など

種別	登録者数	使用目的や特徴
Facebook	約 3,500人	拡散機能を生かした幅広い情報発信など
X(旧:Twitter)	約 5,000人	拡散機能を生かした幅広い情報発信など
Instagram	約 8,500人	市内の特徴的な風景の画像などを発信など
LINE	約 21,500人	個別最適化された情報発信、問合せ自動応答、スポット検索など
YouTube	約 1,000人	市政情報などを動画配信など

※登録者数は、令和6年2月時点における各課で持つアカウントの合算数値

(3) 主な運用アカウント

Facebook	X(旧:Twitter)	Instagram	LINE	YouTube
・いまココえべつ(江別市役所)	・江別市広報広聴課 ・ゴミザムライ(GomiSamurai)	・江別市広報広聴課【公式】 ・【北海道江別市】江別シティプロモート	・市公式アカウント	・江別市役所広報広聴課 ・江別市観光振興課

02 スマート農業について

◆ スマート農業推進検討事業

(1) 目的

少子高齢化・人口減少の進行等により、農業分野の担い手不足や農業農村インフラの維持管理体制の脆弱化が懸念され、情報通信技術の活用に期待が高まっている。一方、スマート農業の実装推進が重要な取組であるものの、当市の営農形態は少量多品目であり、関係するスマート農業技術が多岐にわたることから、当市にとって最適なスマート農業の推進手法についての試行調査を含む検討を行うことを目的とする。

(2) 取組概要

① 事業実施区域における情報通信技術の利用ニーズ等調査

- 事業実施区域における情報通信技術の利用ニーズ、地形条件、既存の情報通信施設とその利用可能範囲等の諸条件の調査
- 調査結果を基にした情報通信施設の導入規格選定等に関する技術的検討



② ワークショップ

- ①の取り組みを補完するとともに、地域のニーズに沿った情報通信施設の整備に関する合意形成を促進するためのワークショップの実施



③ 機器の試験設置、試行調査

- 生産者ニーズの高いRTK基地局と気象観測装置等の試験設置
- 送受信期間の電波通信状況の把握等のための試行調査

(3) その他

情報通信技術の汎用性が高いことから、利用ニーズ等調査や機器の試行調査等を踏まえ、防災や除雪など農業分野以外の多目的利用について組織横断的な検討を行う。



03 デジタルデバイド対策について

◆ 出張型・集合型スマホ教室の開催

(1) 目的

デジタル機器・サービスに不慣れな人のほか、デジタル機器等の利用が困難な人が、デジタル機器等で何ができて、どのような課題を解決できるかを分かりやすく情報共有するための助言・相談等を行う講習会を身近な場所で実施し、デジタル化の恩恵を実感できるようにすることを目的とする。



(2) 取組概要

種 別	出張型スマホ教室	集合型スマホ教室
開催形式	移動型車両でのオンライン講座(サポート:2名)	対面講座(サポート2~3名)
開催頻度	1日3講座(1講座:60分) 計:95日	1日2講座(1講座:90分) 計:13日
開催場所	市役所正面玄関前・各公民館駐車場	各公民館の会議室など
協力団体	ソフトバンク株式会社	北海道テレコムコンサルタント株式会社・EPOC
講座内容	<ul style="list-style-type: none">▶ 入門編:電話、文字入力、メールの使い方など▶ 基礎編:マップアプリの使い方、写真の撮影など▶ 応用編:インターネットの調べ方、音声操作など▶ LINEの使い方:メッセージの入力方法など	<ul style="list-style-type: none">▶ 基本講座: スマホの操作やカメラ、マップ等のアプリの体験▶ 応用講座: マイナンバーカードの申請方法 など